ROTARY CLUB OF FUJIMI

富士見ロータリークラブ週報

第2184回例会　令和　3年　4月16日(金)

【PETS報告:会長エレクト　奥田功次会員】

2021－5－14発行

2020～2021年度

国際ロータリー会長ホールガー・クナーク
『ロータリーは機会の扉を開く』

第2570地区　ガバナー　相原茂吉
『友達をつくろう』

【会　長】星野信吾
【副会長】山城　盛
【幹　事】島田敏郎
【ＳＡＡ】浅見隆広

ロータリーは機会の扉を開く

【点　鐘】　会長　星野信吾会員
【斉　唱】　ロータリーソング「奉仕の理想」
(テープのみ)

【会長の時間】　会長　星野信吾会員

皆さんこんにちは。
月日の経つのは本当に早いですね。4月も16日、あと二週間で一年の三分の一が終わろうとしています。この4ヵ月何をしてきたかと自問自答するのは私だけではないと思います。

今年は例年と比べて１週間から10日程季節の移り変わりが早いように思います。気温も20℃近くになりゴルフを楽しまれる方にはシーズン到来といったところでしょうか。
ロータリーメンバーの方はゴルフをされる方が多いので、12日アメリカオーガスタで行われたマスターズゴルフトーナメントを朝早くからテレビ観戦をしていた方が多かったと思います。
マスターズ10年目にして、日本人初の優勝を松山選手が成し遂げました。2打差で迎えた最終１８番ホール第二打をバンカーに入れた時はヤバいと思いましたが、バンカーからのリカバリーショットがピンに寄った時、誰もが優勝を確信したのではないでしょうか。
10年前（2011年）と言えば、東日本大震災が発生した年、オーガスタのマスターズにアマチュアでの資格を得ていましたが、学生だった松山選手は震災直後という事で欠場を考えていたそうです。そんな松山選手の背中を押したのが被災した多くの市民から「頑張る姿を見せてほしい」という励ましのメッセージだったそうです。

東日本大震災発生後10年目の節目の年にマスターズという大舞台で優勝したことは被災された多くの方に改めて勇気と感動を与えたと思います
東北出身でマスターズ優勝した松山選手、大リーグエンゼルスで二刀流で活躍している大谷選手、ヤンキースから10年目にして楽天に戻ってきた田中選手、フィギイアスケートの羽生選手、10年目の今年だからこそ良い結果を残すのではと期待をしているところです。

2月23日に予定していた第2G・IMがコロナによる緊急事態宣言により中止となりました。“次世代と語る”～事業承継と社会貢献～というテーマの基、パネルフォーラム通じ各地域の次世代の方との交流を深め、会員相互の親睦と会員の増強にも繋げたという主旨での開催予定でした。
来る4月24日、第二G会長幹事会をベルセゾンで行い二つの案件について議論を深める予定になっています。

一点目は
IMで予定していた各クラブ代表の方に発表していただき交流を図る機会を設けました。当クラブの代表としては、商工会青年部長横山さんの発表を予定しています。

二点目は
第二G、勝瀬ガバナー補佐からメールをいただいた、2570地区②グループのグループ化についてであります。

2021年3月10日、ガバナー補佐会議がWEB上で開催され相原ガバナーから提案がなされ各クラブにおいて審議していただきたい旨連絡がありました。

・要約すると、近年2570地区においては、ガバナー輩出に困難を極めています。ロータリアンの高齢化と会員減少に伴い、素晴らしい人材が居るにも拘らず、クラブの体力不足からガバナー輩出が難しくなってきているのが現状です。
そこでガバナー輩出に向け、１クラブのみでは難しくなってきていることから、本地区の5グループにおいて、各グループ内のクラブ間のグループ化案が示され、その案について検討してほしい旨の要望が出されました。

各クラブで事前に取りまとめを行っていただき書面にて補佐宛に送っていただき、24日の日に審議を行いグループ内の意見として取りまとめたい考えであるとの連絡を受けました。
これを受け富士見ロータリークラブとしては4月8日に開催した戦略計画委員会で議論を重ね、9日の理事会において今月24日に行われる会長幹事会の席上相原ガバナーによる提案趣旨説明を聞いたうえ持ち帰り、次回の理事会で検討するという結論に至りました。

最後に二つ残念なお知らせをお伝えしなくてはなりません。
一つ目は、平成19年9月21日本会に入会されて以来13年本会発展に尽力してこられた楠会員から会長宛に3月22日付け令和3年6月30日を以って退会したい旨の通知が郵送されてきました。
会長・副会長・幹事で協議し、楠会員の事務所に赴き慰留に努めましたが、退会の意思が固く一身上の理由という事で正式に受理し、去る9日例会後の理事会に報告、理事全員の賛成により楠会員の退会が認められました。
尚ご本人は、6月30日迄の間で例会に出られるときは出たいと言われていますので、温かくお迎えできればと思います。宜しくお願いいたします。

二つ目は、次週金曜日「ピアザ☆ふじみ」で予定していた北川先生をお招きしての例会ですが、先日先生の事務所から連絡があり東京で「まん延防止等重点措置」が適用され、地域をまたいての移動を自粛との事なので、23日の講演を控えさせていただきたい旨連絡をいただきました。依って、次週23日の例会は休会といたします。

「まん延々防止等重点措置」とは、各市町村単位で対象地域を限定する制度で埼玉県も20日から来月11日迄の間、さいたま市・川口市に「まん延防止等重点措置」が適用予定に有ります。
4月30日、5月７日の例会については後日ご連絡いたします。
以上で会長挨拶を終わります。

【幹事報告】幹事　島田敏郎会員

1)例会変更の件
1．当クラブ(下記の件は休会になりました)
4月23日(金)夜間移動例会　卓話　北川正恭様
点鐘18:30　ピアザ☆ふじみ2Ｆ多目的ホール
2）次の書類を回覧します
1．ハイライトよねやま253
3)次回理事会開催　日時5月7日」(金)13:30～
4)本日例会終了後、臨時理事会開催

【贈呈】会長　星野信吾会員

R財団より桑原、島田、大坪会員にメダルが届いております。ご寄付有難うございました。

桑原会員

島田会員

【委員長報告】　本日はありません

【出席報告】
ニコニコＢＯＸ副委員長　吉原孝好会員

4月16日	正会員数	免除会員	出席率
会員数	40名	10名	
出席数	17名	6名	63.8%

【ニコニコＢＯＸ】
ニコニコＢＯＸ副委員長　吉原孝好会員

星野信吾会長
誕生祝有難う
星野信吾会長、萩原喜八郎会員
家内の誕生祝有難う
下山定夫会員
結婚祝、有難う
下山定夫、萩原喜八郎、深谷雅良会員
前回欠席につき　　本日合計￥11,000

【PETSの報告】会長エレクト　奥田功次会員

皆様こんにちは会長エレクトの奥田です。
次年度 伝統ある富士見ロータリークラブの会長を務めさせていただきます。
新型コロナウィルスの流行により、クラブ会員の経験が従来と異なるものとなっています。
しかし、人と人とのつながりを築き、より良い地域社会をつくろうという熱意に変わりはありません。しかしコロナ禍、行事の遂行みは様々な壁があります。皆様と共に考えながら進んで行きたいと思っています。
先日「会長エレクト研修セミナー」PETSに参加してまいりました。本日、簡単ではございますが、その報告をさせていただきます。

2021-22年度　シュメール・メータRI会長エレクトメッセージ

☆奉仕しよう　みんなの人生を豊かにするために

Serve to Change Lives　SERVE　TO　CHAGE LIVES

ほかの人のために生き、世話をし、奉仕することで誰かの人生を豊かにすることは、
自分の最高の生き方です。奉仕は、誰かの人生だけでなく、自分の人生も豊かにします。

☆もっと行動し、もっと成長する

「行動」は奉仕プロジェクトを、「成長」は会員基盤の拡大を意味します。

☆「each one. Brig one」会員一人が、一人を増強する　会員を120万人から130万人に、

☆「ロータリー奉仕デー」の実施すること　公共イメージの向上に伴って会員増強される　という考えでの実施を全地区とロータリークラブに求めています。

☆「女子のエンパワメント」次年度の焦点

ロータリーの中核的価値観、DEI（多様性、公平さ、開放性）の「多様性」を踏まえ、
不利な立場に置かれることが多い女子へのエンパワメントに取り組むことが重要とし、
特に「女子」に焦点を当てることが示されました変革者の皆さん、準備は整っていますか？大きなチャレンジに立ち向かう準備ができていますか？奉仕する準備はできていますか？みんなの人生を豊かにする準備ができていますか？私は準備ができています。皆さんも同じでしょう。ともに奉仕し、みんなの人生を豊かにしてゆこうではありませんか。
と結んで、メータ会長エレクトのメッセージは終わりました。

2021-22年度地区方針　ガバナー水村雅啓(入間)

【地区スローガン】
『もっと夢を　もっと奉仕を』
More dreams　More service
★もっと夢を・・未来のあるべき地区、クラブの姿を真摯に描く
★もっと奉仕を・・描いた夢（未来ビジョン）の実現に向けて、奉仕プロジェクトを実行

【地区活動方針】

昨年から続く新型コロナウイルス感染症の感染拡大によってロータリー活動が制約されています。私たちは、Afterコロナを見据えて、持続可能なより良い変化をもたらす行動人として活動出来るように、今から準備を進めることが重要と考えます。
ロータリアンは各地のガイドラインに従って例会の開催方法を工夫し、自治体や医療従事者に必要な支援を提供しました。
あるクラブは、換気の悪い場所での会合を禁止する地元の規制に従い、屋外で例会を開いたそうです。今なら、オンライン例会を開催しているといったところでしょうか。
それは、仲間のつながりを維持していこうという心の表れでした。

【よく学び、未来を描く】

私はこんな時だからこそ、「ロータリー」を学び直したいと思います。
バーチャル国際会議では、11日間、インパクトをもたらす奉仕プロジェクトについて、会員基盤を広げることについて、多角的に学びました。それは奥行きが深く幅の広い内容でした。
これを地区役員そしてクラブ会長に伝えるのが私の役目です。地区役員はそれを具体化してクラブ会長はもちろんクラブリーダーに伝え、全体としてそれを実行していくことです。それを効果的なものにするためにも「ロータリー」を学び、未来志向の活動計画を練っていきましょう。
ロータリー運動を表す言葉に「入りて学び、出でて奉仕せよ」があります。
「入りて学び、出でて奉仕せよ」は、目的意識を持って学ぶこと、RI会長のテーマや地区の方針も含めて、大いに学び合い人格を高め合おうということです。また、大きく変革し続ける国際ロータリーを学び、理解を深めることはロータリー活動を有意義にすることにほかなりません。
「出でて奉仕せよ」は、学んだことを地域社会に戻り、奉仕の心として実践に移そうという呼びかけであります。
ロータリーをより知り、現状を把握して、希望に満ちたロータリーの「未来を描く」ために、地区にあってはセミナーや研修会を、クラブにあっては例会や家庭集会で学ぶ機会を大いに作っていきましょう。

【描いた夢に向かって、行動】

学んだことを実践に生かすことが重要です。まず5年後、10年後の地区やクラブの未来を描きましょう。どんなクラブになっているか。
会員規模、例会風景、親睦活動、奉仕活動の内容・・・等々。夢（未来ビジョン・・・戦略計画）を描きましょう。そして、夢の実現に向かって行動しましょう。
メータ会長は、会員数を120万から130万人に増やそうと提唱しています。そして、もっともっと人びとのために奉仕し、その人生をより豊かにするために援助していただきたいと、そして、ほかのロータリアンや、他団体、企業と手を取り合い、地域社会にインパクトをもたらすプロジェクト、国や世界の人びとの人生を豊かにするプロジェクトを実施してください、と訴えています。それは「ロータリー奉仕デー」の実施という形で全地区とクラブに求めています。
「ロータリー奉仕デー」として認められるには、いくつかの必要条件がありますが、実施することで会員、クラブの意欲を引きだし、公共イメージの向上とともに、会員増強に繋がります。ぜひ「ロータリー奉仕デー」に取り組みましょう。

ロータリーの目的は「奉仕の理念」奨励し育むことにあります。「奉仕の理念」とは、要約すれば「他人のことを思いやり、他人のために尽くすこと」。
奉仕とは、自分よりもほかの人のこと先に考えることです。
地区やクラブのリーダーは、率先して様々な機会を作り、理解を深め実践に導く役割が
あります。是非そんな一年にしていただきたいと思います。

【地区活動目標】する機会を

(1)活力ある地区・クラブをつくる
- 5年後のあるべき姿を多角的に描いた戦略計画（未来ビジョン）を作成する
（地区・クラブともにMy Rotary 戦略計画立案ガイドを利用）
- 「Each One,Bring One（みんなが一人を入会させよう)」の推進
- 会員増強は、目標を定め、多様性のある会員構成を目指そう
- 地区役員は、クラブ活性化支援のために何ができるかを念頭に活動する

(2)研修実施でロータリーをもっと知る
- 新会員研修はじめ全会員が研修・学習する機会をつくりロータリーを知ることで、クラブの活性化に繋げる
- 地区セミナーへの参加（ベテラン会員だけでなく、新会員の参加も）促す
- 会長幹事会で、地区委員を招いてロータリー情報の学習を行う
- 地区委員は積極的にクラブに出向き地区情報を提供する
- 関連委員会と合同研修会を実施し、意見交換のできる機会を作る
- 会議、研修、セミナーを最適化するため、バーチャル技術の使用を支援・奨励する

(3) 多様な奉仕プロジェクトへのチャレンジ
- グローバル補助金を活用した国際社会への貢献

7つのカテゴリー

1. 平和構築と紛争予防 2. 疾病予防と治療
3. 水と衛生　4. 母子の健康
5. 基本的教育と識字率向上　6. 地域社会の経済発展 7. 環境の保全

- 地区補助金を活用した地域社会への貢献
- 「ロータリー奉仕デー」の取り組みを検討する・・・
- ポリオ根絶活動を推進する

(4) 将来のリーダーの育成
- すべての機会を活用して地区のリーダーとなる人材の発掘と育成に取り組む
- ガバナー補佐、地区委員は、次年度のリーダーとなる人材を発掘し推薦する
- RLI への参加を促す
- 未来を担う若い世代を支援し、青少年プログラムに積極的に取り組む

【点鐘】会長　星野信吾会員

例会日　毎週金曜日
時　間　12:30～13:30
事務所　〒354－0022
富士見市山室2－10－10　島田ビル201号
電　話　049－251－6596　FAX049－252－3848
例会場　島田ビル1F
Eメール　fujimi-rc@nifty.com

会報・IT委員会　週報担当:萩原喜八郎
委員長:萩原喜八郎　副委員長:涌井英樹
委　員:長根章浩